

フランスの核戦力一覧

【概要】

大枠となる弾頭数について公的情報がある。サルコジ大統領が「300弾頭以下に削減する」と発表（2008年3月21日）（Sarkozy, Nicolas M. 2008）したのについて、オランド大統領がその完了を含め現状を確認した（2015年2月19日）（Hollande, François 2015）。2015年NPT再検討会議に提出した報告書（Government of France 2015）で、弾頭数が300以下であること、潜水艦発射弾道ミサイル数が1隻あたり16基で3隻分あること、空中発射核巡航ミサイル数が54発であることなど大統領演説の内容を再確認した。54発という数字は、この一覧表では、作戦配備の「爆撃機など航空機搭載」40発と作戦外貯蔵の「爆撃機など航空機搭載」10発との合計50発に該当するが、差の4発はその後退役して予備弾頭になったと推定される。2017年5月に就任したマクロン大統領はオランド大統領の核兵器政策を継承した。表の数字はクリステンセンらの文献に依拠した(Kristensen, Hans M. & Norris, Robert S. 2018)。フランスは新世代の戦略原子力潜水艦(SSBN)、それに搭載するミサイル(SLBM)、航空機に搭載する新世代巡航ミサイルと、すべての核兵器の近代化を行っている。政府は毎年の核兵器予算は約46億ドルとしているが、36億ドルという文献もある。近代化のために核兵器関連予算は2025年までには60億ドルになるという予測もある (Kristensen, Hans M. 2018)。

2018年6月1日現在

名称	核弾頭の種類	核弾頭の威力 (キロトン)	核弾頭数	備考	
作戦配備			280		
潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM) 1)			240		
MSBS M51 2)	M51.1	TN75	150	3)	
	M51.2	TNO	100		
爆撃機など航空機搭載			40		
爆撃機搭載 ASMPA 4)		TNA	可変~300	40	5)
空母艦載機用 ASPMA 6)		TNA	可変~300	0	7)
作戦外貯蔵			~10		
SLBM			0		
爆撃機など航空機搭載			~10	8)	
退役・解体待ちなど			~10	9)	
全保有数			300		

【脚注】

- 4隻のトリオンファン級(※)原子力潜水艦(SSBN)：トリオンファン、テメレール、ビジラン、テリブルに搭載。うち少なくとも2隻が完全作戦体制にあり、そのうちの1隻が抑止パトロール(約10週)に就いている。基地はプレスト近くのロング島(ile Longue)という半島(Kristensen, Hans M. 2015)。
 - ※【トリオンファン級】前型最後のSSBNアンフレキシブルは2008年1月に退役(Norris, Robert S. & Kristensen, Hans M. 2008)。2010年9月20日、テリブルが就航し4隻体制になった。16基のミサイル発射管を装備する。
- MSBS=Mer-Sol Balistique Stratégiqueの頭文字。フランス語で「艦対地戦略弾道ミサイル」。旧型M45(射程4,000 km以上、6弾頭MIRV可能)から射程が長く、搭載重量が大きく、精度も高い新型M51に転換中。4隻中2隻はすべてM51を搭載(Kristensen, Hans M. 2015)。バージョンM51.1の発射実験は2010年1月27日と7月10日に行われた。2013年5月5日、ビジランからの発射実験に失敗した(Collin, Jean-Marie 2013)。2016年にバージョンM51.2がトリオンファンに作戦配備され、他の3隻はM51.1が継続して配備されている。M51.1は熱核弾頭TN75(※)(威力約100キロトン)を装着、M51.2はより強力なTNO(威力約150キロトン)を装着している。
 - ※【TN75, TNO】フランスが1995~96年、ムルロアで行った最後の核実験で実証実験が行われた熱核弾頭。TNはフランス語の核弾頭(Tête Nucléaire)の頭文字。TNOは海洋核弾頭(Tete Nucléaire Oceanique)の頭文字。
- 4隻のうち3隻に交替で弾頭が装備される運用体制と考えられ、1隻はオーバーホール(Kristensen, Hans M. 2015)、3隻×16発射管×(4-6)MIRVと弾頭数が計算される。平均すると5発の多弾頭運用となる。
- ASMPA=Air-Sol Moyenne Portée Amélioréeの頭文字。フランス語で「空対地中距離改良型」。射程500 kmの巡航ミサイル。弾頭はTNA(Tête Nucléaire Aéroportée)の頭文字。航空核弾頭)。
- 2種類の戦闘爆撃機ミラージュ2000N(※)、ラファールF3(※)各20機に搭載、1機あたり1弾頭(Kristensen, Hans M. 2015)。ラファールの核任務は2018年9月にはすべてがラファールに置き換わる予定(Kristensen, Hans M. 2018)。
 - ※【ミラージュ2000N】1988年に作戦配備。2009年にASMPAを装備。航続距離2,750 km。(Kristensen, Hans M. 2015)
 - ※【ラファールF3】2008年に作戦配備。2010年にASMPAを装備。航続距離2,000 km。(Kristensen, Hans M. 2015)
- フランスが持つ唯一の空母シャルル・ドゴール(R92、原子力推進)の艦載機ラファールMF3(※)の10機が核任務をもつ。以前はシュペール・エタンダールがこの核任務を担っていたが、ラファールMF3にとって代わられた。前者は2016年に退役予定(Kristensen, Hans M. 2015)。
 - ※【ラファールMF3】2010年に作戦配備。2011年にASMPA装備。航続距離2,000 km(Kristensen, Hans M. 2015)。
- 空母シャルル・ドゴールには、平時において核兵器は搭載されていない。艦載機ラファールMF3に搭載のためのASMPA約10発は陸上基地(おそらくイストレ(Istres)航空基地)に貯蔵されている(Kristensen, Hans M. 2015)。その意味で、中国の場合と同様に作戦外貯蔵に分類した。
- 空母艦載機用ASMPA約10発を含む。
- オランド大統領の発表では、「非配備の核兵器はない」と述べた(Hollande, François 2015)。2015NPT再検討会議でも同様の報告を行った(Government of France 2015)が、米国の「即応核戦力」のような目的で非配備の予備核兵器をもっていない、という趣旨と思われる。実際には核弾頭の維持サイクルの中で、作戦貯蔵にはない、新しい弾頭、修理中の弾頭、解体を待っている弾頭などが少数であると推定される(Kristensen, Hans M. 2015)。

【出典】

Collin, Jean-Marie 2013: "The M51 missile failure: where does this leave French nuclear modernization?," BASIC Blog, June 27, 2013.
<http://www.basicint.org/blogs/2013/06/m51-missile-failure-where-does-leave-french-nuclear-modernization> (2018.5.17 アクセス)

Government of France 2015: "Report submitted by France under actions 5, 20, 21 of the Final Document of the 2010 Review Conference of the Parties to the Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons," (NPT/CONF.2015/10) 12 March 2015.

Hollande, François 2015: "Speech on Nuclear Deterrence," 19 February, 2015. 非公式英訳 : <http://acdn.net/spip/spip.php?article921&lang=en> (2018.5.17 アクセス) 抜粋和訳 : <http://www.peacedepot.org/nmtr/bcknmbr/nmtr470.pdf> (2018.5.17 アクセス)

Kristensen, Hans M. 2015: Chapter 'France,' "Assuring Destruction Forever: 2015 EDITION," edited by Ray Acheson, 2015, Reaching Critical Will. <http://www.reachingcriticalwill.org/images/documents/Publications/modernization/assuring-destruction-forever-2015.pdf> (2016.5.12 アクセス)

Kristensen, Hans M. 2018: Chapter 'France,' "Assuring Destruction Forever: 2018 EDITION," edited by Alyson Pytlak, 2018, Reaching Critical Will. <http://www.reachingcriticalwill.org/images/documents/Publications/modernization/assuring-destruction-forever-2018.pdf> (2018.5.17 アクセス)

Kristensen, Hans M. & Norris, Robert S. 2018: "Status of World Nuclear Forces," Website of FAS. <http://fas.org/issues/nuclear-weapons/status-world-nuclear-forces/> (2018.5.18 アクセス)

Norris, Robert S. & Kristensen, Hans M. 2008: "French nuclear forces, 2008," *Bulletin of the Atomic Scientists*, September/October, 2008.

Sarkozy, Nicolas M. 2008: English version: "Presentation of SSBM 'Le Terrible' – Speech by M. Nicolas Sarkozy, President of the Republic," 21 March 2008

<http://carnegieendowment.org/publications/index.cfm?fa=view&id=20001&prog=zgp&proj=znpp> (2018.5.18 アクセス)。抄訳：「ニコラ・サルコジ仏共和国大統領の演説」、イアブック：核軍縮・平和2008（監修：梅林宏道、NPO法人ピースデポ）pp.250-252.

©RECNA 核弾頭データ追跡チーム